

裾野麗峰山の会山行報告書

文・GT

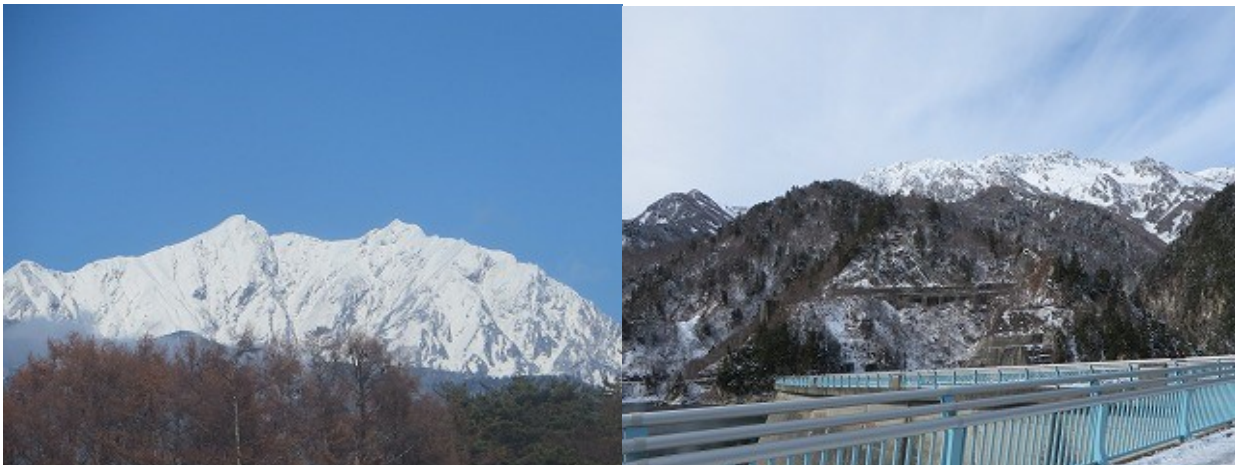
山行番 NO. 1810
日時 2018. 11. 24 (土) 晴
山域 立山・雄山 (3003m)
コース 長泉6:15-扇沢-室堂発12:31--ノ越13:43-三角点14:40-雄山
14:50--ノ越15:30-みくりが池温泉16:27 (泊)
標高差 上り=室堂約2433m~雄山3003m=約570m
下り=雄山3003m~みくりが池温泉約2400m=約603m
参加者 雄山=GT、KH・2名、雷鳥沢散策=TY, SS, SA, MM, HT, GM・6名

朝6時過ぎ長泉を出発。無風・快晴・高温だった。

少雪が懸念されたが、安曇野に入ると、鹿島槍・白馬は真っ白だった。

扇沢に向かう。念のためスタッドレスに替えて来たが、道路に雪は殆ど無かった。

連休で無料駐車場は既に満杯。有料駐車場は、12H=1000-。8名なら大した額でないので躊躇なく有料に入れた。結局、24H以内で2000-だった。駅まで歩いて5分。



ダムサイトを歩き、ケーブル・ロープウェイ・トロリーを乗り継ぎ室堂着。

扇沢から約1.5H。料金は8460-。なかなかイイ値段だ。

室堂の雪量はマアマアだった。ただ、スキーは厳しい。数年前、雪崩事故で数名亡くなったが、これでは、雪崩を起こしたくても、起きないだろう。





それでも、やっぱり雪山は美しい。半年ぶりだった。
大枚を叩いて来る価値はあるだろう。
雷鳥沢散策の6名を残して、一ノ越を目指す。雪は30cmくらい。
スキーヤー・ボーダーは数多くいるが、滑るのは四苦八苦。
一ノ越は風が強かった。全装備を纏った。



ストックもピッケルに持ち替えた。

一ノ越からガラガラの岩場は、雪が少ないので歩き難い。

扇沢から一気に上って来たので息は苦しい。

しかし、展望はグングン広がり、富士・槍・剣・大日岳・富山湾が見渡せた。

何処かの若い衆が、喜びか気合か不明だが、時々、奇声を発し上っていた。やや迷惑。

雄山神社に到着。ここは風がない。



雄山に着いた。立山の最高峰は大汝山（3015m）。本来、最高峰まで行くのが筋だが、既に時間は15:00近い。ここで断念した。それでも3000mまで上れたのでよしとしよう。
下山は速い。何故か風が弱まった。
ーノ越下で大休憩。ホット梅酒が美味かった。

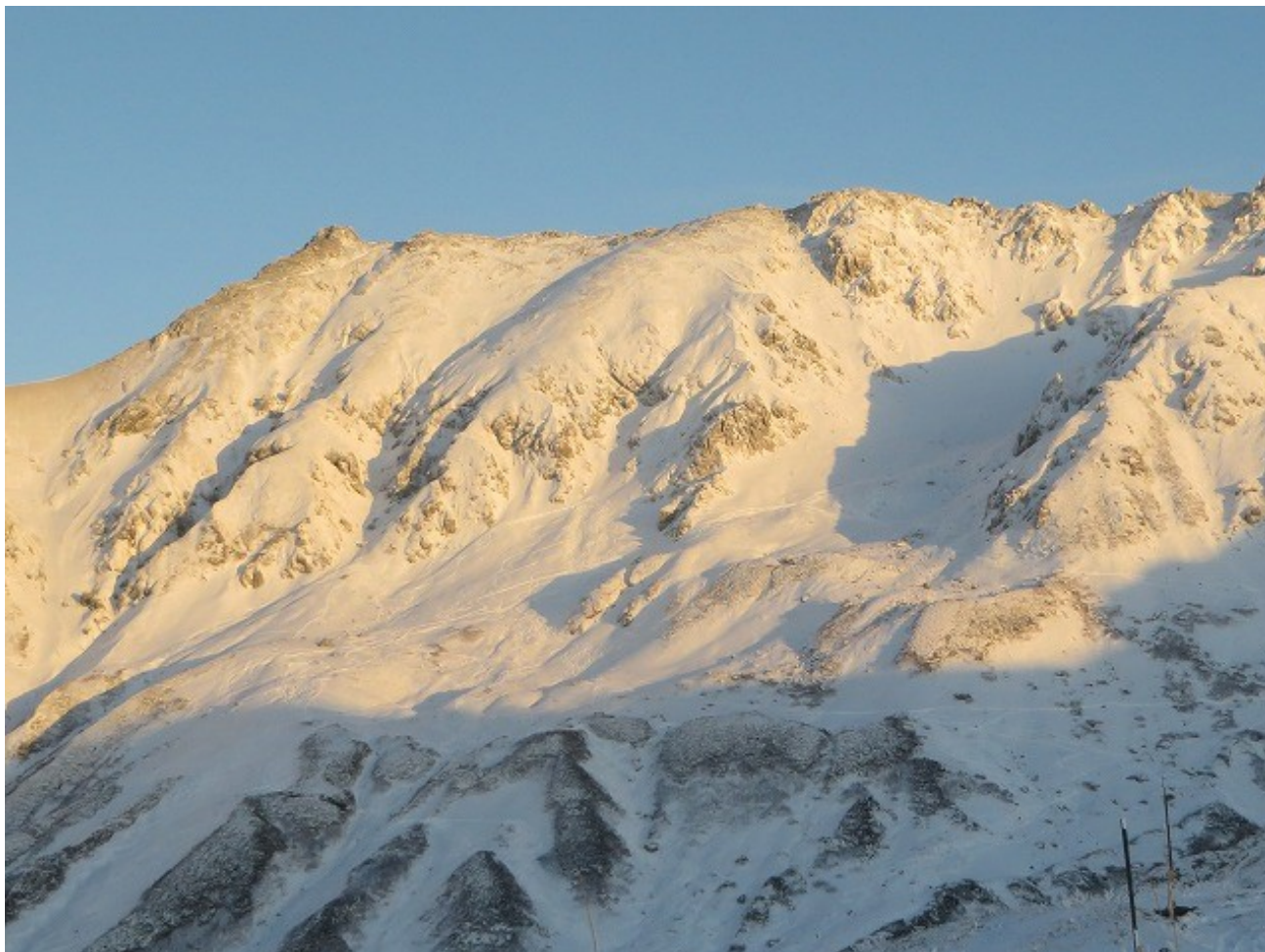


ウメッシュ



立山感傷

長いトラバースで、みくりが池温泉着。
宿は小屋・ヒュッテ・山荘とかの名称はなく、みくりが池温泉と呼ぶ。
丁度、日没時で立山は紅く染まって、夕焼け雲が美しかった。



みくりが池温泉（小屋）に入る。部屋は個室だったが大部屋でなく、二段ベットだった。

大部屋なら皆でワイワイ出来るのだが、二段ベットでは空間がなく何もできない。期待していただけにガッカリ。この辺は幹事（リーダー）の感覚と交渉次第。安くない金額の利用だけに完璧な対応を求められる。夕食まで時間があつた。が、自販機のピア販売がなかった。あると思って何も持参しなかったので手持無沙汰。夕食は18時から。小屋は本日が今年最終日。

実は最終日は、酒類が無料で振舞われる。宿代金は9300-。昨今、北ALPSの小屋代金は9900-が多い。600-安く酒類無料はリーズナブル（手頃・妥当）だろう。夕食、開宴にあたりオーナーの挨拶があつた。小柄だったが感じが良い方だつた。全員にジョッキの生ピアが配られ乾杯。ちなみに生は一杯=500-と誰かが言つていた。普段、あまりピアはやらないが、風呂上がりで2杯やってしまった。ワインは、「山のワイン」というラベルの普通のモノ。日本酒は地酒でなく、客が残した？神奈川の酒だつた。要するに小屋じまいで、在庫一掃の感じだろう。ただ、生ピアがなくなつたら、500mlをバンバンくれた。数本、その場で飲まないで部屋に持ち帰つた。



オーナーさん

温泉は良かった。
朝も入り、「朝寝・朝酒・朝湯」三昧だつた。

昨日、雷鳥沢隊6名中4名は、一の越を目指して6時外に出た。しかし、天気はやや荒れ気味で風が強く結局断念した。
一番のトロリーで下山。信州側は、無風・快晴・高温だつた、駐車料金は安くて有難かつた。
温泉は朝入つたのでなし。産直に2軒寄つて買い物。最後はソバを食べてめた。
この時期、イイ雪山に上れて良かった。